

理 事 会 次 第

令和7年8月20日(水)13:30～
岡山建設会館4階ホール

議 題

[協議事項]

[資 料]

- | | |
|--|-----|
| 1. 岡山県の財政スタンスの再認識と有効な施策に対する
予算措置に関する請願（案）について | 別 冊 |
| 2. 陳情書（案）について | 別 冊 |
| 3. 県・中国地方整備局との意見交換会について | 1 |
| 4. 中国ブロック協議会意見交換会及び地域懇談会について | 8 |
| 5. 会員の入会及び変更の承認について | 11 |
| 6. 協議員候補の推薦について | 12 |

[報告事項]

- | | |
|--------------|----|
| 1. 会務報告 | 13 |
| 2. 協会研修会について | 14 |

[そ の 他]

- ・ 情報提供

[今後の予定]

- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| 8月29日（金） | 16：30～ | 県土木部との意見交換会 |
| 10月10日（金） | 13：30～ | 正副会長会 |
| 10月16日（木） | 10：00～ | 協会研修会 |
| 10月23日（木） | 11：30～ | 建設業殉職者慰霊祭 |
| | 12：30～ | 理事会 |

岡山県との意見交換会（案）

令和7年8月29日（金）

16:30～18:30

岡山プラザホテル

4階「鶴鳴の間」

<次 第>

1. 岡山県建設業協会会長あいさつ
2. 岡山県土木部長あいさつ
3. 陳情の趣旨説明
4. 意見交換

場所を移動し懇親を図りながら意見交換

<出席予定者>

- ・岡山県建設業協会：正副会長、理事
- ・岡山県土木部：土木部長、都市局長、技術総括監、
関係課長、県民局建設部長

県への要望

	R 4						R 5						R 6						R 7					
	項目	(内訳)					項目	(内訳)					項目	(内訳)					項目	(内訳)				
		件数	協会	技士会	塗装	エコ		件数	協会	塗装	エコ	件数		協会	塗装	エコ	鉄構	件数		協会	塗装	エコ	鉄構	
1 予算確保に関すること	3	10	9		1		3	14	12	2		3	14	10	4			3	17	12	5			
2 入札制度等に関すること	18	58	51		6	1	23	85	71	14		23	74	59	11		4	18	58	45	7	3	3	
3 担い手の確保に関すること	4	31	27	1	3		4	28	22	5	1	4	27	20	6		1	4	26	19	5		2	
4 設計積算に関すること	19	93	74		10	9	14	98	85	7	6	15	94	74	8	8	4	16	66	52	8	6		
5 工事監理に関すること	7	29	27		2		9	43	40	2	1	9	36	32	4			7	27	23	3		1	
6 その他事業に関すること	10	15	11	1	2	1	10	12	9	1	2	6	9	6	2	1		10	14	9	1	4		
合 計	61	236	199	2	24	11	63	280	239	31	10	60	254	201	35	9	9	58	208	160	29	13	6	

陳情項目数推移 R4～R7（全体）

R4

項目		件数
④設計積算	(4) 積算等の適正化	25
④設計積算	(1) 単価の現実との乖離	24
③担い手	(1) 担い手の確保に向けた取組	19
④設計積算	(3) 現地状況に合致した設計	13
⑤工事監理	(1) 現場監督員等の改善	10
⑤工事監理	(2) 書類の簡素化	10
②入札制度等	(3) 総合評価落札方式	7
②入札制度等	(1) 市町村への指導	6
②入札制度等	(7) 地域性の考慮	6
③担い手	(3) 働き方改革	6
①予算確保	(1) 各種予算確保	5
③担い手	(4) 建設キャリアアップシステム	5

R5

項目		件数
④設計積算	(4) 設計積算等の適正化	20
⑤工事監理	(1) 書類の簡素化	19
④設計積算	(3) 現地状況に合致した設計・積算	17
④設計積算	(1) 設計単価と実勢単価の乖離	17
③担い手	(1) 担い手の確保に向けた取組	16
②入札制度等	(1) 市町村への指導	12
②入札制度等	(3) 一般競争（総合評価落札方式）	12
①予算確保	(1) 各種予算確保	11
⑤工事監理	(2) 現場監督員等の改善	11
④設計積算	(5) 実施工にあった設計変更	10
④設計積算	(2) 物価スライド	8
②入札制度等	(8) 不適格業者の排除	7
②入札制度等	(11) チャレンジ型入札	7
②入札制度等	(2) 最低制限価格率等の引上げ	6
②入札制度等	(6) 地域性の考慮	6
③担い手	(2) 週休2日制工事の拡大促進	6
④設計積算	(6) 歩掛の見直し	6

R6

項目		件数
④設計積算	(3) 現地状況に合致した設計・積算	20
②入札制度等	(1) 市町村への指導	16
③担い手	(1) 担い手の確保に向けた取組	15
④設計積算	(4) 設計積算等の適正化	14
②入札制度等	(3) 一般競争（総合評価落札方式）	12
①予算確保	(1) 各種予算確保	11
④設計積算	(1) 設計単価と実勢単価の乖離	11
④設計積算	(14) 積算基準の見直し	10
④設計積算	(6) 歩掛の見直し	9
⑤工事監理	(1) 書類の簡素化	9
⑤工事監理	(2) 現場監督員等の改善	9
④設計積算	(5) 実施工にあった設計変更	7
④設計積算	(8) コンサルタント会社の責任	7
③担い手	(4) 働き方改革	6
⑤工事監理	(5) 工事成績評価基準の見直し	6

R7

項目		件数
③担い手	(1) 担い手の確保に向けた取組	16
④設計積算	(1) 設計単価と実勢単価の乖離	13
①予算確保	(1) 各種予算確保	12
②入札制度等	(3) 一般競争（総合評価落札方式）	12
④設計積算	(3) 現地状況に合致した設計・積算	12
⑤工事監理	(1) 書類の簡素化	12
④設計積算	(5) 実施工にあった設計変更	10
②入札制度等	(1) 市町村への指導	7
②入札制度等	(5) 発注の平準化	6
⑤工事監理	(5) 工事成績評価基準の見直し	6
②入札制度等	(2) 最低制限価格率等の引上げ	5
⑤工事監理	(3) ICT工事	5
②入札制度等	(4) 追加工事の契約	4
②入札制度等	(6) 地域性の考慮	4
③担い手	(3) 建設キャリアアップシステム	4
④設計積算	(4) 設計積算等の適正化	4
④設計積算	(6) 歩掛の見直し	4
⑥その他	(4) 新技術・新工法の採用	4

中国地方整備局との意見交換会（案）

建設業が抱える諸課題に関して懇談することにより、建設事業の円滑な執行を図ることを目的とします。

記

1 開催日時

令和7年9月30日（火） 15：00～18：40

① 営繕関係 15：00～15：30

② 土木関係 15：40～17：10

③ 懇親会 17：10～18：40

2 場 所：ピュアリティまきび

3 議題等

(1) 協会から提出する提案議題と整備局からの情報提供をもとに意見交換を予定

(2) 出席者（予定）

[中国地方整備局]

① 営繕関係：営繕部長他

② 土木関係：企画部長、技術調整管理官他

[岡山県]

② 土木関係：技術総括監、技術管理課長

[建設業協会]

①② 共通：会長、副会長、専務理事他

(一社)岡山県建設業協会との意見交換会 提案議題

提案議題

議 題
最低制限価格率の引上げについて
提 案 要 旨
最低制限価格率に関して、中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデル（中央公契連モデル）では、直接工事費 97%、共通仮設費 90%、現場管理費 90%、一般管理費 68%となっています。 一般管理費の率については、令和4年に引き上げられましたが、その他は、次のとおり改正されて以降、引き上げられていません。 直接工事費 97%・・・平成29年3月改正 共通仮設費 90%・・・平成20年3月改正 現場管理費 90%・・・平成28年3月改正 一般管理費 68%・・・令和 4年3月改正 受注するには、最低制限価格を算出し、その周辺で入札をしないと落札できない状況の中で、物価高や働き方改革に伴い資材価格や労務費が高騰しており、適正な利潤の確保が難しいことから、最低制限価格率の引上げをお願いします。

(一社)岡山県建設業協会との意見交換会 提案議題

提案議題

議 題
特別調査価格について
提 案 要 旨
追加工事について、現場施工中の協議の段階で、材料費は見積対応とするということで概算工事費用を算出し、その額を提示したところ、監督員から指示書が出されるが、指示書には金額の記載はなく、特別調査価格の適用との話もない。 このため、提示した概算工事費に基づき施工を行う。 しかし、現場施工が終わり、工事の竣工検査前の変更金額を確認する時期に、材料費について、協議時の概算金額よりも安くなる特別調査価格が適用されていることがわかる。 この時点では、施工段階中の協議を信じて施工を行い、協力業者に支払いを済ませているので、安い特別調査価格に変更されると元請業者は採算が合わなくなる。 特別調査価格を適用するのならば、協議の段階で、その理由とその販売業者名を教えていただくとともに、その会社から購入できるようにしていただきたい。

(一社)岡山県建設業協会との意見交換会 提案議題

提案議題

議 題
熱中症対策について
提 案 要 旨
熱中症による健康障害の疑いがある者の早期発見や重篤化の防止等のため、労働安全衛生規則が令和7年4月15日に公布され6月1日から施行されました。 企業が熱中症予防対策を怠った場合には、労働安全衛生法違反として「6か月以下の懲役または50万円以下の罰金」が科されるものです。 こうした罰則の適用があるにもかかわらず十分な周知を行わないまま強引に施行されたように思います。 国土交通省として、関係省庁に対して、特に罰則を伴うような改正を行うならば、関係者に周知できるよう施行までに十分な期間を取るよう働きかけていただきたい。

建設業協会中国ブロック協議会 意見交換会及び地域懇談会（案）

1. 開催日

令和7年10月24日（金）

2. 場 所

山口市「かめ福オンラインプレイス」

3. 議 事

- ・ 中国ブロック協議会提案事項
- ・ その他

〈出席予定者〉

- ・ 国土交通省、中国地方整備局
- ・ 各県及び政令指定都市
- ・ 全国建設業協会、中国5県建設業協会

国土強靱化を地方へ行き渡らせる仕組みづくりについて

地方自治体では長期にわたり土木系・建築系の技術職員の減少が続いており、中でも市町村での不足は深刻である。

こうした中で、市町村でも国土強靱化地域計画が策定されているものの、防災・減災、国土強靱化に向けて必要な事業などを盛り込んだ事業計画が策定されておらず、具体的な取組ができていない市町村がある。

国においては、複数の市町村にまたがる一定区域のインフラを「群」と捉え、県や市町村が連携して一体的にマネジメントをする仕組みとして「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」を令和5年度からモデル事業として始めている。

この「群マネ」の手法を国土強靱化地域計画及び事業計画の策定はもとより、それに基づく個々の事業の設計・発注から照査時の変更協議、施工管理・完了検査、そして維持管理まで全般的に導入し、広域連携によって防災・減災、国土強靱化に着実に取り組むことができる仕組みを設計していただきたい。

また、社会資本整備や維持管理の担い手であり、災害時には最前線で復旧・復興に取り組む「地域の守り手」である地域建設業が、その役割を果たしていくためには、中長期的な見通しのもとで経営計画等が立てられるだけの安定した事業量が必要であり、地方自治体が国土強靱化に着実に取り組むことで、地域建設業の足腰が強くなり、国土強靱化の取組の実が挙がるものと考えている。

工事照査時の請負代金額の変更について

受注後、工事着手前の工事照査の段階で設計と工事現場が一致しないことが確認された場合には、必要な設計の変更を行うとともに、請負代金額について必要な変更を行うこととなっており、国においては対応しているが、県や市町村では、こうした工事照査が機能しておらず請負代金額の変更が十分に認められてきていない。

また、県や市町村では、国が設けた直轄工事用の大ロットの歩掛を用いていることから、小規模工事に係る手間などが反映されておらず工事予定価格が低くなるが、請負代金額の変更が認められず、地域建設業がその負担を強いられるという現状がある。

こうしたことから、元請下請間には、「もらえたら払ってやる」という商習慣が日本中でできており、実際に必要な工事費がもらえなければ労務費の引き下げにもつながる。

このため、設計と現場との違いにより請負代金額に変更が生じる場合には、実際に必要な工事費を担保したものに變更できるよう県や市町村の工事照査を実効性のあるものにしていただきたい。

こうすることで、元請下請間の契約に請負代金額の變更分を反映させることができ、こうした商習慣を打破することができる。

会員の変更の承認について

(会長専決)

地 域	商号または名称	変更事項	旧	新
岡山東	(株)ソルコム岡山(支)	代表者	川 崎 洋 治	長 嶋 寛 雄
岡山東	中国建設工業(株)	代表者	松 尾 一 昌	岡 本 信 之
岡山東	(株)ナйкаイアーキット岡山(支)	代表者	田 中 忠 夫	高 月 隆 志
岡山西	岸本建設(株)	代表者	岸 本 三七吉	岸 本 浩 司
和 気	(株)吉岡建設	代表者	吉 岡 淳 一	吉 岡 泰 弘
笠 岡	上新建設(株)	代表者	加 賀 敏 春	山 崎 章 弘
津 山	(有)永和建設	代表者	末 沢 晃	末 沢 由 博
美 作	(株)森元工務店	代表者	森 元 進 吾	森 元 直 樹

(協議案件)

地 域	商号または名称	変更事項	旧	新
矢 掛	山陽建設(株)	代表者	小 川 利 通	長 川 祐 加

(様式)

令和7年5月9日

一般社団法人岡山県建設業協会
会 長 荒 木 雷 太 殿

一般社団法人岡山県建設業協会
建部地域担当理事 浦上和己

一般社団法人岡山県建設業協会の協議員会規程第2条第2項により、下記の者を協議員の候補として推薦する。

記

氏 名	所属（商号又は名称）
釣 田 益 稔	(有)釣田建設

会 務 報 告

令和7年8月5日（火）

[報 告 事 項]

<令和7年>

- (1) 5月 8日 労務費の基準に関するワーキンググループ（第7回）
- (2) 5月19日 西日本建設業保証(株) 取締役会
- (3) 5月21日 岡山県建築住宅センター(株) 取締役会
- (4) 5月30日 (公財)岡山県建設技術センター 評議員会
- (5) 6月 3日 労務費の基準に関するワーキンググループ（第8回）
- (6) 6月 4日 全建 表彰部会
- (7) 6月 4日 岡山県職業能力開発協会 理事会・通常総会
- (8) 6月10日 全建 表彰式、定時総会
- (9) 6月19日 岡山県建築住宅センター(株) 定時株主総会・取締役会
- (10) 6月24日 西日本建設業保証(株) 定時株主総会
- (11) 6月26日 岡山労働局人材確保対策推進協議会
- (12) 7月 4日 岡山県土木施工管理技士会総会

協会研修会「人材確保支援セミナー」開催概要

●日時

令和7年10月16日（木） 午前10時から12時まで

●会場

岡山プラザホテル

●講師

株式会社はたらこらぼ 代表取締役 日下章子氏

◎次第

- ・開会、会長あいさつ
- ・講演（100分）
- ・閉会、アンケート回答（回答は電子申請による）

◎講演内容（概要）

1. 高卒採用の現状、採用活動、PRのヒント【90分】
 - ①若手入職者の集め方、自社の魅力の伝え方
 - ②若手入職者を引きつける方法
 - ③入職後の定着率向上策※高卒、新卒採用をターゲットとする。
2. 建設企業ライブにおけるブース運営について（装飾方法等）【5分】
3. 質疑応答【5分】

◎その他

- ・おかやま建設企業ライブ出展（希望）企業は積極的にご参加ください。